

平成 27 年度 行政監査（監査対象：全ての局室区）

監査結果の概要	措置内容	措置状況
○ 指 摘 事 項 （１）情報資産の管理 情報資産の管理方法 イ）生活保護業務における査察指導台帳の作成保存 各区の生活保護業務では、担当係長が、被保護世帯に対するケースワークの査察指導の進行管理を行うため、生活保護システムから被保護世帯に関する必要な情報を事務処理用 PC に取り込み、データを編集加工して「査察指導台帳」を作成保存しているが、「査察指導台帳」ファイルにパスワード設定が行われていない事例があった。また、「査察指導台帳」の事務処理用 PC による作成保管は、審議会に諮問されていなかった。 「査察指導台帳」のデータには個人情報保護条例第 7 条第 3 項に規定するセンシティブ情報が含まれる場合があることから、適正な情報セキュリティ対策を講じるべきである。 （保健福祉局保護課）	指摘事項のうち、ファイルにパスワードが設定されていない事例については、操作職員において、セキュリティ対策への意識低下が招いたために起こったことと考える。 パスワード設定の徹底と共に情報セキュリティの遵守について、継続的に周知徹底を図るべく、各所属内において相互確認していくよう、平成 28 年 3 月 24 日の各区保護係長会議において改めて周知徹底を行った。 査察指導台帳の情報セキュリティ対策については、端末機の増設について平成 29 年度の政策予算要求を行い、予算措置が行われた。平成 29 年度に、基幹系端末を各区係長に配布し、「査察指導台帳」の運用を基幹系ネットワーク内で行うように徹底することとしている。 （保健福祉局保護課）	措置済

○ 意 見 (2) 物理的セキュリティ スタンドアロンシステムのあり方 システム台帳では、個人情報を取り扱っているスタンドアロンシステム (PC 単体で稼働しているシステム) が 54 システムあった。 いずれもアクセス制限のための ID とパスワードの設定は行われていたものの、その多くが、ネットワークに接続していないことを理由にウイルス対策ソフトの常駐がないか、ウイルス対策ソフトを導入していても定義ファイルを更新していなかった。また、審議会の諮問を経ずにシステムを構築したり、施錠可能な管理区域に PC を設置していないシステムも多数あった。さらに、情報の共有化及び業務の効率化を図るため、スタンドアロンのシステムの情報を情報系ネットワーク上で課内共有し、データを編集加工している事例もあった。 インターネット接続がなく、USB 等による外部接続が完全に行われず、当該 PC 内だけで情報の閲覧・処理が行われるのであれば、ウイルス対策ソフトの常駐までは必要ないといえなくはないが、当該 PC に個人情報が保存されている以上、端末本体の盗難等による情報流出に備え、不利用時に施錠できる書庫等へ保管することや業務担当者以外のアクセス制御の徹底などのセキュリティ対策の確実な実施が必要である。 スタンドアロンシステムについて、情報系ネットワークのイントラで処理することも含めて、よりセキュリティ対策の確実なあり方を検討されたい。 (企画調整局情報化推進部)	スタンドアロンシステムについては、インターネット接続をしないなど、外部とのデータのやりとりがほとんどないか、全くないといった事情が個別にあることが考えられるが、そのような状況でも、セキュリティリスクが相対的に低いだけで、リスクがゼロではない以上、セキュリティ対策が全く不要になることはない。 端末のセキュリティ対策に必要な措置としては、ウイルス対策や認証の管理、操作ログの保存等が考えられる。情報系ネットワークで使用する、いわゆる事務処理用 PC においては、情報化推進部が一括して、これらのセキュリティ対策を施した状態で端末を提供できる。したがって、基幹系の業務や、センシティブ情報を扱う業務など、特別な事情がある場合を除けば、新たにシステムを構築するときは、情報系ネットワーク内で、事務処理用パソコンを使用する形でシステムを構築する方が、セキュリティリスクがより小さいと考えており、所管課から相談があったときも、従来から、事務処理用パソコンの活用を検討するよう、対応してきた。 現場において、左記のような状況があることについては、スタンドアロンのシステムといえども、セキュリティ上問題があると考えており、システムの規模や扱う情報の内容などに応じて、必要なセキュリティ対	措置済
--	---	------------

	策を個別に実施するか，事務処理用パソコンを利用する方法に変えるか，適切な対応を早急に求めていく。 平成 28 年度は新たに以下の取組を行った。 ウイルス対策ソフトの常駐，定期的な更新の周知徹底。 ・ 情報管理者研修（集合研修）（6/27,6/28） ・ 情報管理者研修（自主研修）（6/29～7/31） ・ 情報システム幹部研修（e-ラーニング）（10/6～10/31） 所属のスタンドアロンシステムを，安全な環境に集約するための受け皿として，仮想化基盤上に仮想デスクトップを構築し，仮想デスクトップの利用を説明会で呼びかけた。（12/13，12/16。H29.2月より稼動。） （企画調整局情報化戦略部）	
--	--	--